

中・高生のネットコンテンツの多様な利用とリスク

～保護者が学び、いかに子どもと向き合うか～

全国6カ所で開催予定の「ケータイモラルキャラバン隊」。東北では青森のみで実施。講演は、「東奥日報」で「子どもとケータイ・親も知らないプロフ」を連載し、海外のネット問題にも詳しい若手メディアジャーナリストの渡辺真由子氏。シンポでは様々な年齢層による熟議が。学び・深め・展望を掴み子ども達に向き合える会を目指します。PTA・行政・文部科学省と大学のコラボによる画期的な会には是非多くの方のご参加をお待ちします。



講演者 渡辺 真由子氏
(メディアジャーナリスト)

テレビ朝日系で報道記者を務め、ドキュメンタリー『少年調書』で日本民間放送連盟最優秀賞、放送文化基金優秀賞を受賞。退職後、カナダのサイモン・フレイザー大学でメディア・リテラシーを研究。現在はネット社会の子どもを取り巻く人権問題を取材し、情報から子どもを守り、賢くメディアとつきあうノウハウを伝授。

著書に『大人が知らない ネットいじめの真実』、『子どもの秘密がなくなる日～プロフ中毒ケータイ天国』など。毎日新聞、東奥日報などで「子どもとケータイ・親も知らないプロフ」を連載。

日時

2012年2月18日(土)

13時～16時(12時30分より受付開始)

●主なプログラム

13時05分～13時25分 <文部科学省説明>

ケータイモラル、情報等に関する学校での取り組み

勝山 浩司 氏 (文部科学省スポーツ・青少年局・青少年課 課長)

13時25分～14時25分 <講演>

中・高生のネットコンテンツの多様な利用とリスク

渡辺 真由子 氏 (メディアジャーナリスト)

14時25分～15時55分 <シンポジウム>

「ネットの世界を保護者とケータイ世代で深めよう」

■コーディネーター 大谷 良光 (教育学部・教授・弘大パト隊 代表)

■シンポジスト 渡辺 真由子 氏・勝山 浩司 氏・佐藤 江里子 氏 (県P連母親委員長)
香川 七海 氏 (若手ネット教育研究者)・加賀谷 悠 氏 (弘大パト隊副隊長)

協力



<http://good-net.jp>

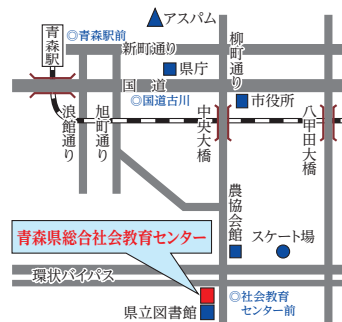
安心ネットづくり促進協議会(会長:大谷大学教授 鷲田清一)は、利用者、産業界、教育関係者、有識者などが一丸となってインターネットの利用環境を整え「グッドネット」を推進する組織である。

場所

青森県総合社会教育センター

(定員300名)

〒030-0111 青森市大字荒川字藤戸119-7
TEL 0172-739-1251



◆連絡先

弘前市文京町1番 弘前大学教育学部
大谷研究室 弘大ネットパトロール隊

①FAX 0172-39-3417 ②E-mail urasite.patrol@gmail.com

◆申し込み方法

- ・個人参加の場合は上記①②のいずれかの方法でご連絡下さい。
- ・団体参加の場合は、各主催団体にご連絡下さい。
- ・もちろん、当日参加でも可能です。

主 催：文部科学省(委託事業：(株)メディア開発綜研)
青森県高等学校PTA連合会
青森県PTA連合会

弘前大学教育学部「ネット・ケータイ問題」研究
プロジェクト(弘大ネットパトロール隊)

後 援：青森県教育委員会 弘前大学 青森市教育委員会
事務局：弘前大学ネットパトロール隊